

富山の雪について考える

教養講座

令和3年11月17日(水)～12月22日(水) (計6日間9時間)

〈講座概要〉

令和3年1月は富山市の積雪が35年ぶりに1mを超えるという大雪に見舞われました。雪には慣れていない富山でしたが、大きな交通障害が発生し、流通にも大きな影響がでました。この講座では、この大雪はどのような気象現象だったのか？どのくらいの頻度で起こるのか？それに備えてどのようなまちづくりが必要なのか？都市デザイン学部の教員がリレー形式で講義します。

募集定員	20名
受講対象者	市民一般
実施場所	富山駅前 CiC ビル5階大学コンソーシアム富山「駅前キャンパス」研修室
受講料	6,300円
テキスト	なし
申込期限	～令和3年11月2日(火)まで
問合せ先	五福キャンパス

〈講座内容〉

回数	期日	時間	題目	講師氏名	所属・職名
1	11月17日(水)	18:30～20:00	雪国の暮らしを支える材料	會田 哲夫	都市デザイン学部・教授
2	11月24日(水)		富山における積雪の経年変化と雪害	杉浦幸之助	都市デザイン学部・教授
3	12月1日(水)		富山の雪の特徴	濱田 篤	都市デザイン学部・准教授
4	12月8日(水)		最近分かった氷の話	畠山 賢彦	都市デザイン学部・准教授
5	12月15日(水)		災害時の自動車の使用と交通行動変容について考える	猪井 博登	都市デザイン学部・准教授
6	12月22日(水)		状況見積もりからの災害対応	井ノ口宗成	都市デザイン学部・准教授

〈備考〉

本講座の修了者は希望により、県民カレッジから5単位が認定されます。